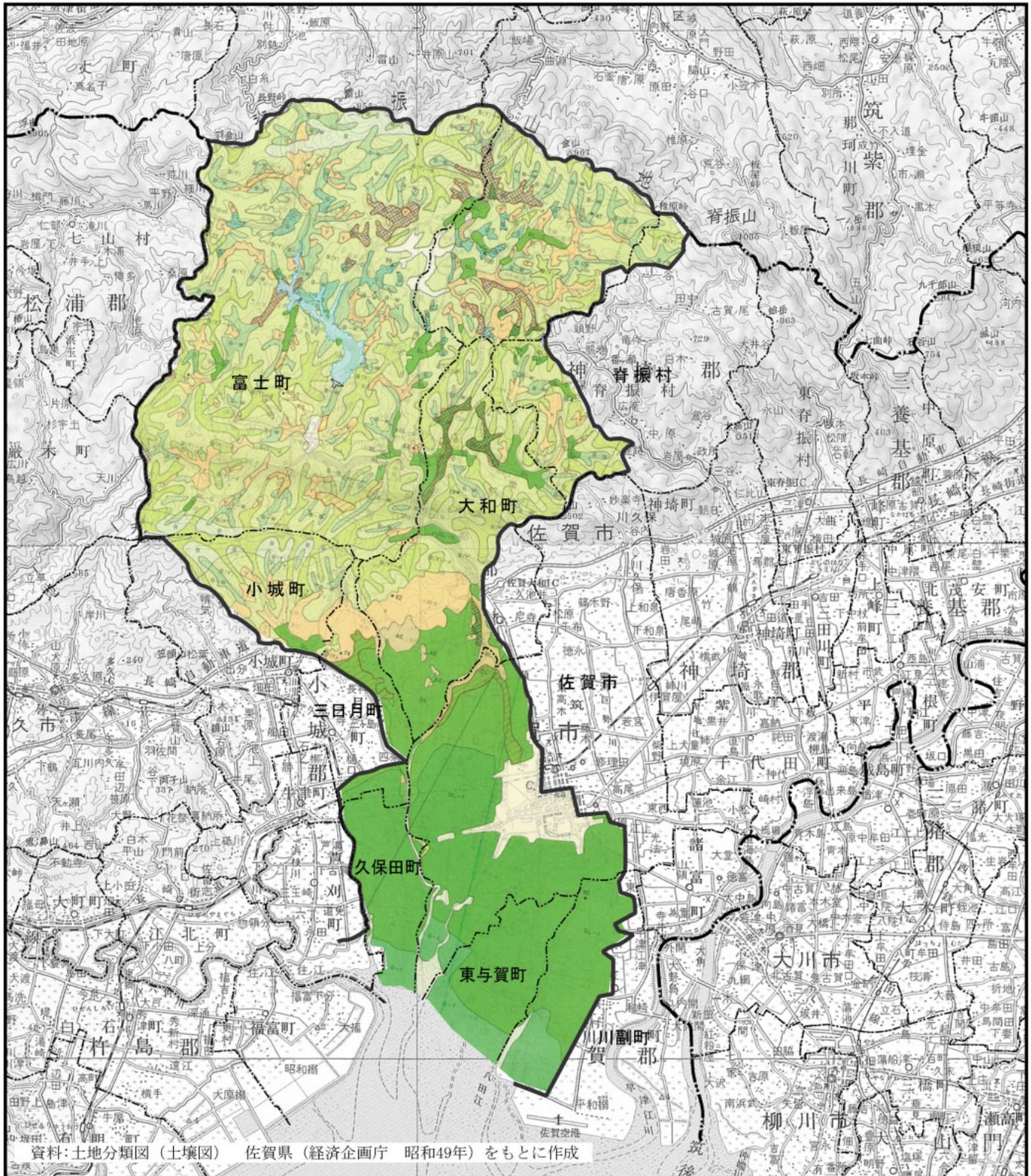


2.1.3 土壌及び地盤の状況

自然的状況の調査範囲における土壌及び地盤の状況は、「土地分類図(土壌図)佐賀県(経済企画庁 昭和49年)」によると、図2.1.3-1に示すとおりである。

脊振山地には褐色森林土壌(黄褐系)及び乾性褐色森林土壌が広く分布し、脊振山地の山麓地域には黄色土壌や黒泥土壌等が分布している。また、嘉瀬川の下流域に広がる佐賀平野には、細粒灰色低地土壌及び灰色低地土壌が広く分布する他、有明海沿岸の干拓地には細粒グライ土壌が分布している。

なお、対象事業実施区域及びその周辺には、褐色森林土壌(黄褐系)、湿性褐色森林土壌、灰色低地土壌、黄色土壌、グライ土壌等が分布している。



凡例

- : ダム堤体
- : 貯水予定区域
- : 自然的状況の調査範囲
- : 県界
- : 市町村界

RG	残積性未熟土壌	B-W	湿性褐色森林土壌	GL-C	粗粒灰色低地土壌
AE	淡色黒ボク土壌	Y	黄色土壌	G-I	細粒グライ土壌
B(Y)-d	乾性褐色森林土壌	BL-C	粗粒褐色低地土壌	G	グライ土壌
B	褐色森林土壌	OL-I	細粒灰色低地土壌	M	黒泥土壌
B(Y)	褐色森林土壌(黄褐色系)	GL	灰色低地土壌		



1:200,000

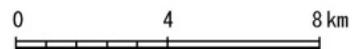


図2.1.3-1
土壌及び地盤の状況

2.1.4 地形及び地質の状況

(1) 地形

自然的状況の調査範囲における地形の状況は、「土地分類図(地形分類図)佐賀県(経済企画庁 昭和49年)」によると、図2.1.4-1に示すとおりである。

嘉瀬川の上流域に位置する脊振山地周辺は中起伏山地から小起伏山地を中心とした地形となっており、福岡県との県境地域周辺が中起伏山地に、対象事業実施区域が位置する富士町や大和町の広い範囲が小起伏山地となっている。また、三瀬村から脊振村にかけては大起伏丘陵地を中心とした地形となっている他、脊振山地の山麓地域から嘉瀬川の下流域にかけては、扇状地性低地から三角州性低地となっており、有明海沿岸は干拓地となっている。

なお、以下に示す a~e により重要な地形を選定したところ、自然的状況の調査範囲においては、それらの重要な地形は確認されなかった。

- a. 文化財保護法(昭和25年法律第214号)又は文化財保護条例(佐賀県条例(昭和51年条例第22号)、佐賀市条例(昭和51年条例第37号)、川副町条例(昭和55年条例第12号)、東与賀町条例(昭和54年条例第21号)、久保田町条例(昭和55年条例第4号)、大和町条例(昭和57年条例第6号)、富士町条例(平成7年条例第2号)、小城町条例(昭和57年条例第33号)、三日月町条例(平成10年条例第19号)、脊振村条例(昭和62年条例第11号)、三瀬村条例(平成10年条例第33号))に基づき指定された天然記念物
- b. 世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約(平成4年条約第7号)に基づき指定された世界遺産
- c. 自然環境保全法(昭和47年法律第85号)に基づき指定された特異な地形
- d. 「自然環境保全調査報告書(環境庁 昭和51年)」に基づき指定された、すぐれた又は特異な地形
- e. 「日本の地形レッドデータブック 第1集(日本の地形レッドデータブック作成委員会 平成6年2月)」に掲載されている地形

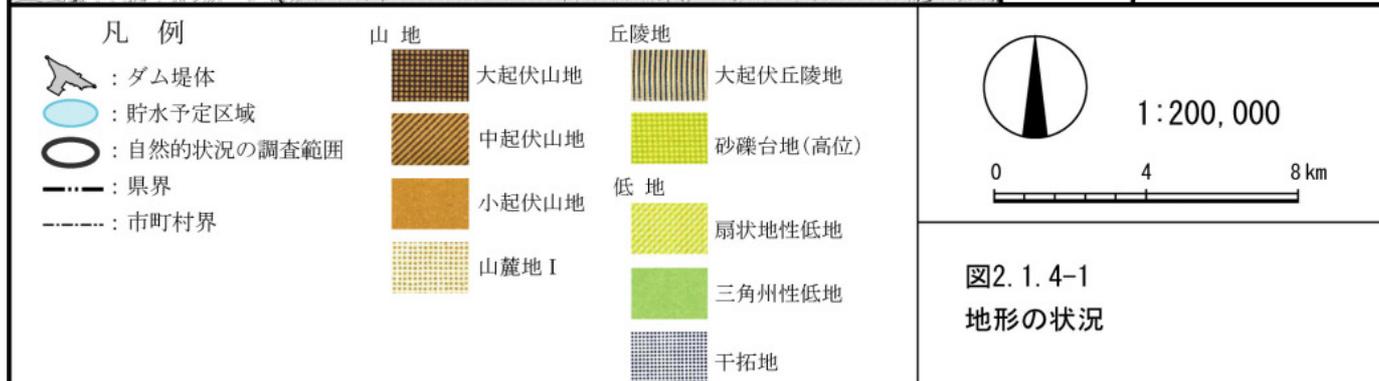
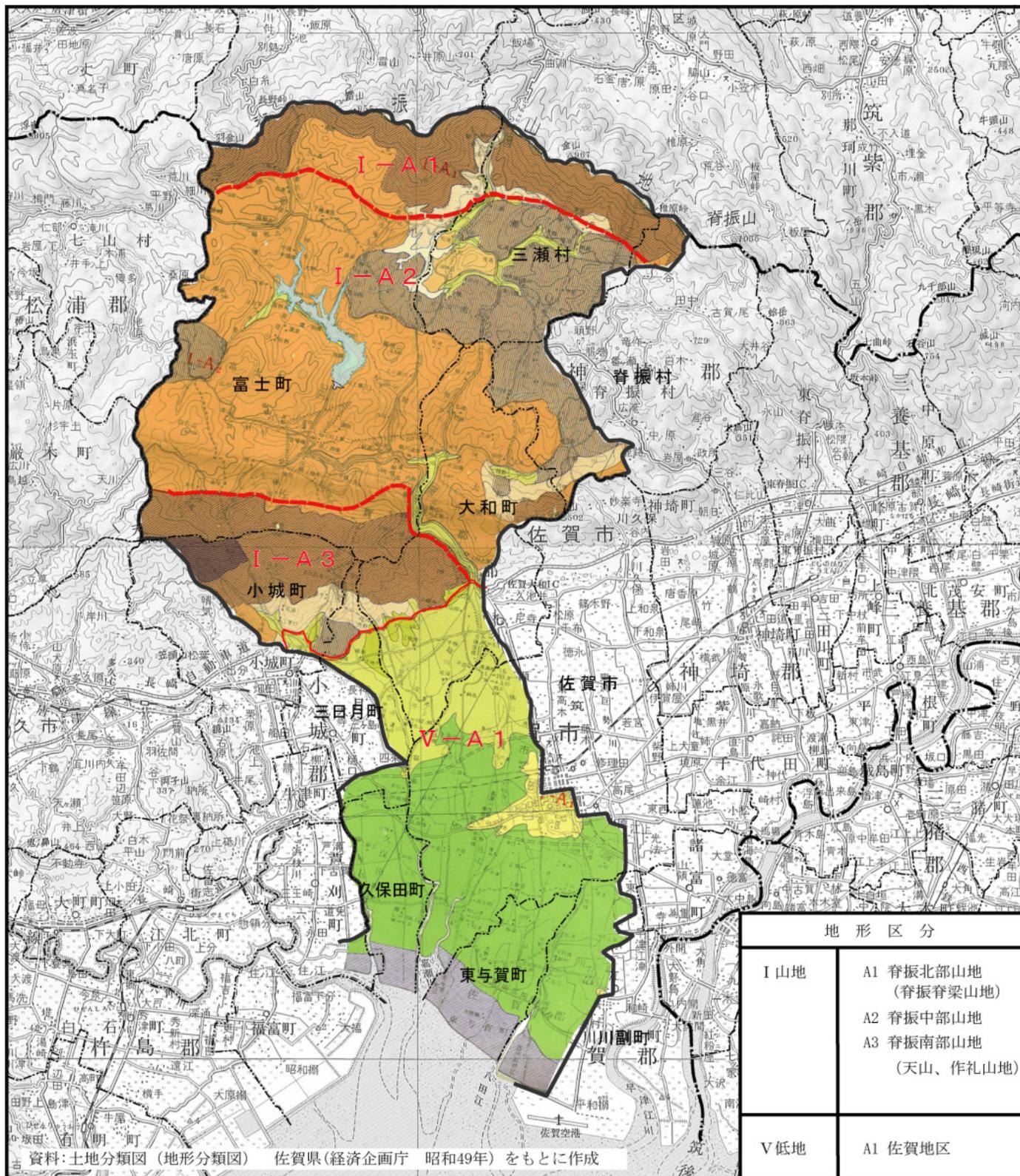


図2.1.4-1
地形の状況

(2) 地質

自然的状況の調査範囲における地質の状況は、「土地分類図(表層地質図 - 平面的分類図 -)佐賀県(経済企画庁 昭和 49 年)」によると、図 2.1.4-2 に示すとおりである。

脊振山地周辺は、深成岩類の両雲母花崗岩類、花崗閃緑岩類が広く分布している他、福岡県との県境地域の一部や、富士町と小城町の町境地域等に変性岩類の緑色片岩類が分布している。また、脊振山地の山麓地域には蛇紋岩類、緑色片岩類、玄武岩類、泥質片岩類が点在し、嘉瀬川の下流域となる佐賀平野の低地地帯にかけては、北部に砂がち堆積物が、南部に泥がち堆積物が広く分布している。

なお、以下に示す a~e により重要な地質を選定したところ、自然的状況の調査範囲においては、それらの重要な地質は確認されなかった。

- a. 文化財保護法又は文化財保護条例に基づき指定された天然記念物
- b. 世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約(平成 4 年条約第 7 号)に基づき指定された世界遺産
- c. 自然環境保全法(昭和 47 年法律第 85 号)に基づき指定された特異な地質
- d. 「自然環境保全調査報告書(環境庁 昭和 51 年)」に基づき指定された、すぐれた又は特異な地質
- e. 「日本の地形レッドデータブック 第 1 集(日本の地形レッドデータブック作成委員会 平成 6 年 2 月)」に掲載されている地質

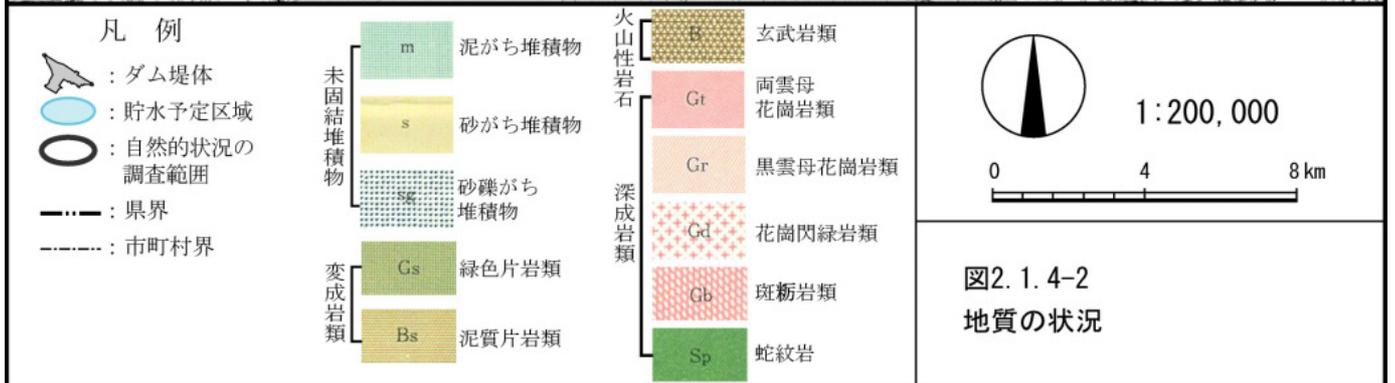
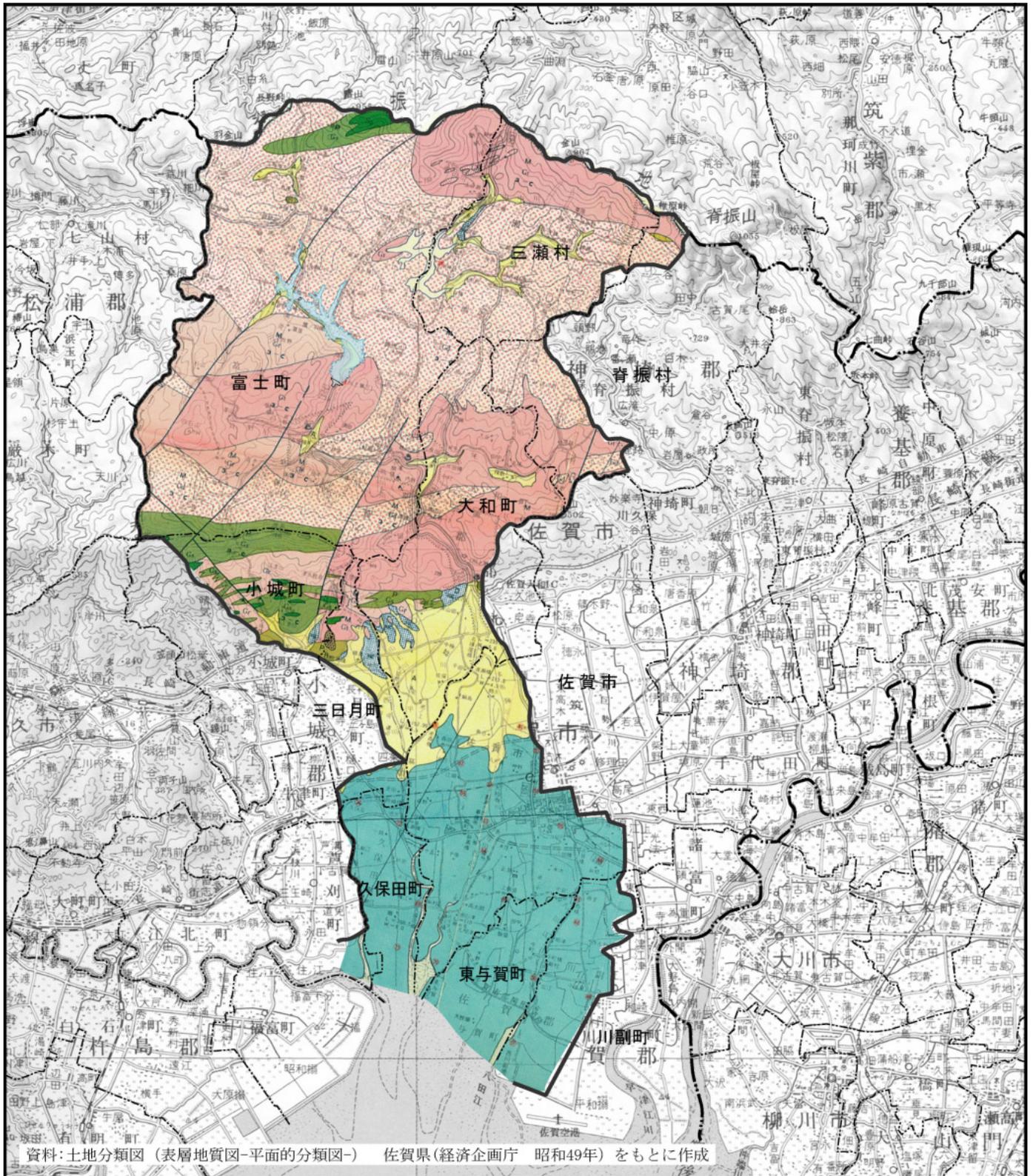


図2.1.4-2
地質の状況